



今年も恒例の「ふるさとまつりinかさま」が10月19日（土）・20日（日）に開催され、中央支部の福祉バザーは、初日の19日に実施しました。

前日、値付けの頃は雨でしたが、公民館会場への午後の搬入の頃には雨もやみ、濡れることなく時間通りに進めることができました。バザー当日は、雨上がりのひんやりとした空気の中、早朝よりお手伝いの係の方々が集まり、てきぱきと販売開始

夏空の下で 賑やかに福祉バザーを開催

中央支部だより

発行者
笠間市社協中央支部
編集
中央支部広報委員会
印刷
(有)シーエス



に向けての準備を行いました。午前9時の販売開始の頃には、多くのお客さまが入口のロープ前に集まって、今か今かと楽しみにしている様子でした。その様子から、徐々に販売欲が湧いてきました。天気も徐々に回復し青空が広がり、真夏を思わせるように気温が上昇しました。イベントの調子・賑わいもうなぎ上り、バザー販売の掛け声も高まっていきました。今年は少し早め



に赤飯が出来上がり、販売のテント前には長い行列ができました。一人で数パック買い求めるお客さまもおり、昼頃には完売となりました。

今年は提供されたバザー用品は、昨年と比べ、やや少なめでしたが、係の方々のチームワークで、雑貨・衣類の部でもほとんどを販売することができました。

バザー用品を提供していただいた皆さま、値付けや調理・販売・警備などに携わっていただいた皆さま、品物を購入していただいた皆さまに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。お陰さまで、今年の売上げは約27万円余りとなりました。この売上金は、今後の支部活動の財源として大切に使用させていただきます。

本当にありがとうございました。



秋晴れの11月8日（金）中央支部女性部研修の日です。

参加者30人でしたが、出発前からバスの中は「お久しぶり」という声で賑やかでした。

高田女性部長、栗股支部長の挨拶に続き、藤枝副部長の丁寧なコース案内がありました。花貫溪谷に到着し、汐見滝吊り橋まで、話をしながらゆっくり歩きました。今年は紅葉が2週間程遅れているという事で、「紅葉を見に行こうよう」とはなりませんでしたが、小川に添っての散策は気持ちの良いものでした。

昼食場所の「国民宿舎鶴の岬」では、支配人の話を伺いました。鶴飼文化を支えるウミウ捕獲場の話は、大変興味深かったです。

青葉町 井坂フジエ

みんな笑顔の女性部研修



8階からの白砂青松の伊師浜海岸は、とてもすばらしい景色でした。ふだんは、お会いする事のない女性部の方々ともお話しでき、親睦の良い機会になりました。

企画して頂いた支部役員、同行して頂いた社協の柿長さん、ドライバーの酒井さんに感謝申し上げます。



高齢者親善交流会

10月2日（水）当日は、昨年とは異なり朝早くから天候に恵まれ、競技日和の日となりました。

早朝より9つのクラブ・地域より54名（男性27名、女性27名）が参加し、午前9時集合、開会式後9時半より競技を開始しました。グラウンドゴルフ部は32名（男性15名、女性17名）が参加しました。日頃の練習の成果でしょうか。ホールインワン達成者は10名もありました。また、輪投げの部は22名（男性12名、女性10名）が参加し、3、4、5mに挑戦しました。距離、方向、力加減が中々掴めず苦労したようですが、高得点にはまるで自分の事のように喜ぶ姿が見られました。気温上昇による熱中症防止の為、競技途中に休憩を挟み、楽しいうちに無事、競技を終了しました。
表彰後、昼食のお弁当（お持ち帰り）を渡し、解散となりました。
来年もより多くの参加者で青空の下、競技したいものです。
結果は次の通りです。



○グラウンドゴルフ

男性の部

- 優勝 藤川 才次郎
- 準優勝 小林 和則
- 三位 中村 誠

女性の部

- 優勝 渡辺 秀子
- 準優勝 稲毛 トク
- 三位 高村 はる江

○輪投げ

男性の部

- 優勝 藤枝 正一
- 準優勝 井川 征男
- 三位 篠原 次郎

女性の部

- 優勝 井川 美恵子
- 準優勝 笹島 富士子
- 三位 小林 充恵

○特別賞（米寿）

その他、4位、5位、ホールインワン賞、ブービー賞、参加賞がありました。
大平 栄子
星野 みぐさ

女性部研修会

当の越 塩畑真紀子

6月26日（水）に、女性部研修で食中毒防止をメインにした調理実習をしました。講師は、栄養士の田中さんです。

調理前に食中毒を起こさないための注意点を学びました。手の洗いや、材料の取り扱い、調理用温度計を使った食材の加熱の仕方など、詳しく教えていただきました。

そして学んだことを基に、実際に調理を行いました。献立はタンドリーチキン、切り干し大根の煮物、青菜の胡麻和えです。参加者の方々が4つのグループに分かれ、お互いに協力し合いながら、食べてもらう人がおいしく、食べやすいようにと考えながら作りました。

大勢の方に食べていただくためには、おいしさはもちろんのこと安心安全な食事を提供しなければならぬという大切さを再確認することができた研修会でした。



災害時の避難生活支援講習

大沢中3 工藤 伴子

7月20日（土）災害時の避難生活支援講習会が開催され、24名の参加がありました。日本赤十字社より2名の指導員をお招きし、2時間の講習を受けました。



前半は災害への備えです。家具の固定や非常用袋の準備、非常食や飲料水の点検等を確認しました。次に、避難所についてです。高齢者や子どもの避難生活の物資不足やストレス、運動不足等にどう対処したら良いかなどの講話をしていただきました。

後半はホットタオル、風呂敷リュック、新聞紙スリッパの作り方と毛布ガウンの着付け方を実習しました。暖のとり方を身近にある物で工夫するなど、知識を身につけることができました。

いつ災害に遭っても不自由なく過ごすために、準備が大事だと再認識しました。



調理ボランティア募集

中央支部配食調理は女性部が担っておりましたが、高齢化等に伴い、人数が減少して、調理が難しくなってきました。

そこで女性部に限らず、地域の皆様に年1〜2回の調理のお手伝いをしていただける方を広く募集しています。女性部の方も、お手伝いしてもよいとお考えの方、どうぞ、よろしくお問い合わせします。是非ご連絡ください。

◎連絡先…社協事務局

☎0296(77)0730

会澤・柿長迄



あとがき

中央支部だより127号をお届けいたします。

本号では福祉バザーの取組み、高齢者親善交流会、また女性部の各活動等を紹介しています。予定通り開催することができました。皆さまのご協力に感謝いたします。

今年も残り少なくなりましたが、来年も皆さまの元気な姿をお届けできるように精進してまいります。

寒い冬がやってまいります。お身体には十分お気を付けください。
(藤枝)